

技報発刊に寄せて

名古屋大学工学研究科・工学部技術部は、工学研究科・工学部からの要請に基づき、全学技術センター工学系技術支援室から派遣・配置された技術職員の派遣先部局における組織「工学研究科・工学部技術部」として、主たる業務先である工学研究科・工学部の教員各位のご理解と連携により教育・研究支援業務を精力的に行っています。また、新しい技術の習得やさらなる技術レベルの向上・高度化をめざし、研修や研鑽を積極的に行うと共に、教育・研究支援業務に関する工夫や改良などこれまで培ってきた技術を継承するための講習会や講座の開催、提案・企画等を意欲的に行っています。

この「技報」は、工学研究科・工学部技術部の平成 24 年度における諸活動をまとめたものであり、部局内外の教員並びに関係する皆様に技術部の活動内容を発信するものです。

ご高覧いただき忌憚のないご意見を頂ければ幸いに存じます。

名古屋大学は今、大学運営の基本方針となる「濱口プラン Version2013」で、世界で活躍できる人材の育成、世界トップレベルの研究推進などを掲げ、さらなるグローバル化を進めています。技術部としても、教育・研究支援の立場から新しい業務へ対応すべく、精力的に取り組んでいきたいと考えています。また、法人化以降に採用された方が全体の 1/4 に達し技術職員の入れ替わりが進みつつあり、新規採用職員の育成やこれまで講座等で教員や学生と共に培った技術を継承するための研修・研鑽がより重要となると考えています。スムーズな技術の継承を行うため、これまで以上に研修や研鑽を組織的に進め、技術力の向上に努めてまいりますので、関係各位のより一層のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

最後に、本誌の発行にあたって、多大なご尽力とご支援を頂きました工学研究科長・副研究科長をはじめ、教員、事務職員、その他の関係各位には心よりお礼申し上げます。

平成 25 年 2 月

工学研究科・工学部 技術部
(全学技術センター工学系技術支援室)
室長 熊澤克芳